

# 日本認知言語学会第6回全国大会プログラム(一覧版)

9月17日(土) 受付12時から

特別講演(12:30~14:30) (2号館 201教室)	講師 Professor John R. Taylor (University of Otago)
	演題 Motivation

総会ほか(14:30~14:40)	(2号館 201教室)
-------------------	-------------

		第1室	第2室	第3室	第4室	第5室	第6室
		1号館 202	1号館 203	1号館 301	1号館 302	1号館 303	1号館 304
第1発表	15:00   15:40	有菌智美(名古屋大学大学院)「分解可能な慣用表現における身体部位詞の意味拡張」	徳山聖美(神戸市外国語大学大学院)「主観表現における人称：共感的自己同化用法にみる連続体としての人称」	中村大輔(青山学院大学大学院)「The Meaning of Island hypothesis: The Case study of Take」	伊藤健人(群馬県立女子大学)「日本語の項構造構文における形式と意味：格パターンとイメージ・スキーマ」	黒田航(情報通信研究機構)・井佐原均(情報通信研究機構)「複層意味フレーム分析による文脈に置かれた語の意味の多次元的表現」	池上高志(東京大学)・Jordan Zlatev (Lund University)「From Pre-Representational to Language」
	15:40   16:20	ラダポーン サイソンブーン(大阪大学大学院)「顔に関する言語表現の意味拡張：日本語とタイ語の比較を中心に」	阿部宏(東北大学)「熟語「多少」と主体化について」	大谷直輝(京都大学大学院)「Semantic accommodation revisited—In the case of English phrasal verbs—」	澤田淳(京都大学大学院)「日本語の授受構文のヴォイス的特性—「XがYにVてもらおう」構文が有する「受動性」と「使役性」を中心に—」	金丸敏幸(京都大学大学院)・村田真樹(情報通信研究機構)・黒田航(情報通信研究機構)・井佐原均(情報通信研究機構)「対訳コーパスを利用したBerkeley FrameNetからの日本語Lexical Unitsの半自動的発見手法」	宇野良子(東京大学COE研究員)・池上高志(東京大学)「視点と時間—カラ節のテンスの分析—」
休憩(20分)							
第3発表	16:40   17:20	新谷真由(筑波大学大学院)「婉曲表現にみられるレトリック的思考—英・日・仏における排泄行為のレトリック」	王安(北海道大学大学院)「日本語の感情形容詞が持つ「表出性」とその振舞い」	南佑亮(大阪大学大学院)「形容詞属性叙述文にみられる属性判断の階層性について」	金廷珉(東北大学)・堀江薫(東北大学)「韓国語における名詞化構文の終結用法：名詞と動詞の連続性の観点から」	高橋清子(神田外語大学)「「出現」から「実現」へ：非特定化と特定化の両者を伴う文法化」	東 眞須美(神戸芸術工科大学)「メタフォリカル・コンピテンス(MC)の測定—MCと言語能力との相関性—」
	17:20   18:00	田井香織(関西大学)・鍋島弘治朗(関西大学)「「砂時計の腰」、ponytail、「白魚の指」：イメージ・メタファーの理論的位置づけ、および認知文法ならびにイメージ・スキーマとの関連性」	遠藤智子(UCLA)「Experiencer defocusing and grammaticalization of emotion predicates: The case of love and fear in Mandarin Chinese」	田村幸誠(滋賀大学)「Sound-Emission 構文における意味の拡張限界について：Usage-Based Model Approachの観点から」	李在鎬(情報通信研究機構)・黒田航(情報通信研究機構)・大谷直輝(京都大学大学院)・井佐原均(情報通信研究機構)「名詞との共起関係に基づく構文の定義」	廣瀬裕子(名古屋大学大学院)「動詞「おく」の文法化のメカニズム：本動詞「おく」と補助動詞「～ておく」の意味的関連性」	坂本真樹(電気通信大学)・山本浩一(株式会社電通総研)・林田哲也(株式会社電通総研)「言語データの解析によるTVCM理解度の測定の可能性：参照点能力に着目して」

懇親会(18:30~20:30) 生協2階・大学食堂
----------------------------

9月18日(日)

		第1室	第2室	第3室	第4室	第5室	第6室
		1号館 202	1号館 203	1号館 301	1号館 302	1号館 303	1号館 304
第1発表	9:00   9:40	高田麻里(ジョージタウン大学大学院) “The typology of metaphors based on motivation: Correlation vs. resemblance revisited”	山泉実(東京大学大学院) 「ドメインの統一による種で類全体を表す表現の分析」	小田桐匡(京都大学)・野澤元(情報通信研究機構) 「空間表現における主体性: 被験者の内省報告と眼球運動の関連性から」	眞田敬介(北海道大学大学院) 「関連性理論と認知言語学: 根源的用法の must と have to の意味をめぐって」	岸彩子(京都大学大学院) 「語りに於けるグラウンドと非自立的出来事文の解釈」	王冲(お茶の水女子大学大学院) 「陳述副詞「きっと」の意味構造と日本語教育への応用可能性—認知言語学の観点から—」
	9:40   10:20	鍋島弘治朗(関西大学) 「認知メタファー理論における知覚レベルと概念レベル—プライマリー・メタファーおよびアナロジーとの関連から—」	山本幸一(名古屋大学大学院) 「「関連性」による意味拡張としてのメトニミー」	小熊 猛(石川工業高等専門学校) 「形容詞を述部とする「が/の」交替に関する認知的考察」	杉浦秀行(淑徳中学高等学校、アルバータ大学大学院) 「「さむっ」、 「うまっ」などに見られる文法化に関する考察: 構文文法の視点」	岡本雅史(東京大学大学院)・河原大輔(東京大学大学院)・黒橋禎夫(東京大学大学院) 「表層の語彙分布に基づく談話テキストの主観性・主体性分析に向けて」	森山新(お茶の水女子大学) 「JSL(第二言語としての日本語)における格助詞の習得過程に関する認知言語学的考察」
休憩(10分)							
第3発表	10:30   11:10	碓井智子(京都大学 研修員) “Cognitive Time Model ~ The Two Types of Temporal Metaphor~”	伊藤理英(お茶の水女子大学) 「オノマトペにおける〜スル形の考察」	中村信子(上智大学大学院) 「カテゴリー形成に基づく形容詞順序の統一の説明」	中本敬子(京都大学大学院)・黒田航(情報通信研究機構) 「「y がx から逃げる」の理解内容の階層的意味フレーム分析—コーパスの人手解析と心理実験を通して—」	山寄章裕(京都大学大学院) 「話し手の不満と言語表現についての考察: 「いちいち」「わざわざ」を中心に」	後藤寛(京都大学) 「指差しジェスチャーの指示機能に関する一考察」
	11:10   11:50	大石 亨(明星大学) 「「水のメタファー」再考—コーパスを用いた概念メタファー分析の試み—」	呂佳蓉(京都大学大学院) 「Symbolic View再考—オノマトペに見た言語の象徴性」	John R. Taylor (University of Otago)・吉村公宏(奈良教育大学) “The middle construction as a prototype category”	野澤元(情報通信研究機構)・黒田航(情報通信研究機構)・仲本康一郎(情報通信研究機構)・井佐原均(情報通信研究機構)	吉成祐子(神戸大学大学院) 「謝罪場面における話者の心的態度と言語表現」	小田弘美(H P 研究所) 「Gesture Language Gameにおける移動表現の発生」
ワークショップ	12:50   15:10	「主観性と文法化: テキスト言語学の可能性」 森 芳樹(筑波大学) [代表] 竹内義晴(金沢大学)・大藪正彦(島根大学)・田中慎(千葉大学)	「コーパス利用とこれからの認知言語学: 用法基盤主義をカケ声で終わらせないためには、何を、どうすべきか」 黒田 航(情報通信研究機構) [代表] 金丸敏幸(京都大学大学院)・黒宮公彦(大阪学院大学)・濱野寛子(京都大学大学院)・李在鎬(情報通信研究機構)	“Frames, Figurative Language, and Category Structure” Yoshiki Nishimura (University of Tokyo) [代表], David Lee (University of Queensland), Yukio Hirose (University of Tsukuba), Yuichi Mori (Seikei University)	「川端康成『雪国』の冒頭部分を中心に日本語による認知について考える—中国語・英語訳と比較対照して」 徐 一平(北京日本学術研究センター) [代表] 小澤伊久美(国際基督教大学)・熊倉千之(所属なし)・盛文忠(北京大学外国語学院)・新村朋美(所属なし)・守屋三千代(創価大学)		
シンポジウム (15:20~18:00) (2号館 201教室)		テーマ 認知意味論の新展開—メタファーを中心に— 初山洋介(名古屋大学) 坂原茂(東京大学) 杉本孝司(大阪外国語) 松本 曜(神戸大学)					

\*書籍展示は1号館 204教室です